

ドッキーワークショップ報告書

2025



特定非営利活動法人文化財保管活用支援機構



1. 開催概要

2025年8月23日（土）、広島市総合福祉センターにて「見て、さわって、つくって学ぶ！土器型クッキーワークショップ in 広島」を開催しました。

本ワークショップは、地域文化の継承と次世代の歴史教育を目的とした体験型文化財教育イベントです。文化財の保護に対する関心が希薄化する社会課題に対し、学校教育では補いきれない学びの機会を提供し、楽しみながら文化財に触れることで、その価値と愛着を育むことを目指しました。文化財を「守る」だけでなく「活かす」ための基盤づくりに取り組む特定非営利活動法人文化財保管活用支援機構（CPSUS）の事業の一環として実施されました。

■ 概要

● イベント名

「見て、さわって、つくって学べる！土器型クッキーワークショップ in 広島」

● 日時：2025年8月23日（土）13:30～16:00（受付13:00～）

● 会場：広島市総合福祉センター 調理教室（BIG FRONT ひろしま5階）

● 主催：特定非営利活動法人 文化財保管活用支援機構（CPSUS）

● 協力：アーケストレージ株式会社、株式会社洪栄社

● 後援：文部科学省、広島県教育委員会、広島市、広島市教育委員会、公益財団法人
広島市文化財団、ちゅピCOM、公益社団法人日本文化財保護協会、観光考古学会

2. イベントの流れ

本ワークショップは、参加者が考古学者のように土器を観察し、古代の技術を学びながら、土器型のクッキーを作るユニークな体験型イベントです。

(1) 「相棒土器」を選ぶ

広島市文化財団のご協力により、参加者は広島市内出土の本物の土器片を一人ひとり選ぶことから体験を始めました。

(2) 観察・記録を行う

広島市文化財団の協力で配布された土器片を手に取り、模様や形、混和材などを観察。観察シートに記録し、文化財に対する観察眼と考察力を養いました。

(3) クッキー制作

ヤミラさん考案の「ドッキー」レシピをもとに、観察した土器をモデルにしたオリジナルのクッキーづくりに挑戦しました。模様の再現やデフォルメなど、創造性あふれる作品が多数誕生しました。

(4) 歴史の座学講義

講師による縄文・弥生・古墳時代における広島地域の特色や出土品についての解説を、実物資料を交えて行いました。



3. 参加報告

(1) 参加者構成 中学生：1名、小学4～6年生：6名、小学1～3年生：7名、
大人：7名 (合計21名)

(2) 参加者の声から見る成果

アンケートの結果、参加者の90%以上が『大変満足』と回答し、

「本物の土器に触れることができて感動した」

「観察から創作につながる流れが面白かった」

「また参加したい」という声が多数あり、ワークショップが文化財への継続的な関心を育むきっかけとなったことがわかります。

4. 運営体制・スタッフ構成 講師：1名 スタッフ：3名

事前準備から当日運営までスタッフ全員が柔軟に連携し、スムーズな進行を実現しました。参加者アンケートでも、スタッフに対するポジティブな意見が多数寄せられています。



5. 課題・改善点

運営全体としては大きなトラブルもなく成功裏に終了しましたが、今後の改善に向けて以下の点を共有します。

(1) 会場動線の調整 一部の観察や制作時に動線が狭くなる場面があり、ゆとりのある机配置の工夫が今後の課題です。

(2) 観察シートの記入補助 低学年の参加者に対して、より丁寧な説明補助があると理解が深まると実感しました。

6. メディア・広報連携

本イベントの様子は、CPSUSのInstagramおよびnoteにて随時発信しています。今後も広報活動を通じて、文化財活用に関心を持つ市民層・教育関係者への認知拡大と共感形成を図ってまいります。

Instagram : @cpsus.hokan

note : 「五感で学ぶ考古学×おやつ」など、開催報告レポート公開中

7. 今後の展望

広島での成功をモデルケースとして、今後は各地域の文化財や教育機関と連携し、地域に根ざしたドッキークラフトワークショップを全国に展開していく計画です。文化財を「守る」だけでなく、「楽しみながら、次の世代につなぐ」ための学びの場づくりを進め、地域行政や教育機関、民間企業等とも連携を深めていく所存です。

✉お問い合わせ

特定非営利活動法人

文化財保管活用支援機構 (CPSUS)

〒140-0003 東京都品川区小山3丁目27-5

Webサイト : <https://www.cpsus.org>

Instagram : @cpsus.hokan

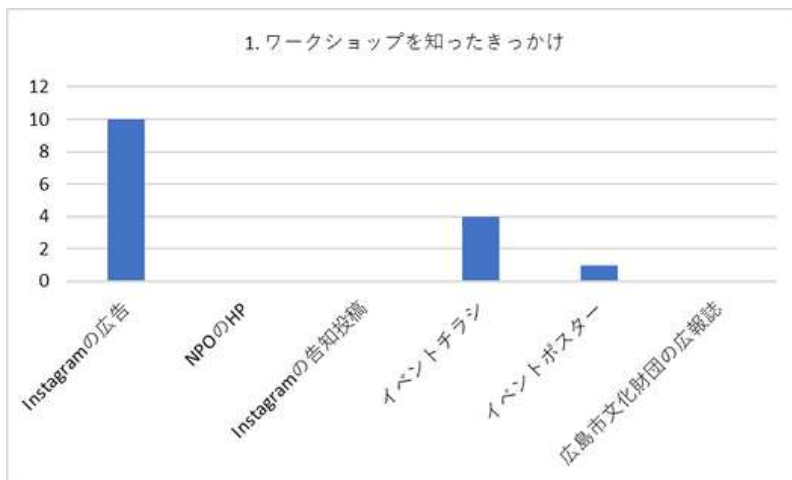


ドッキーワークショップ アンケート結果

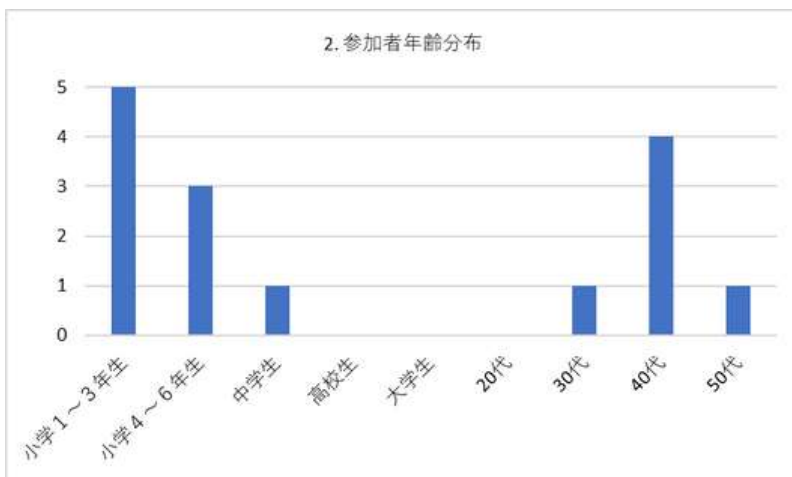
2025.9

1. アンケート集計結果

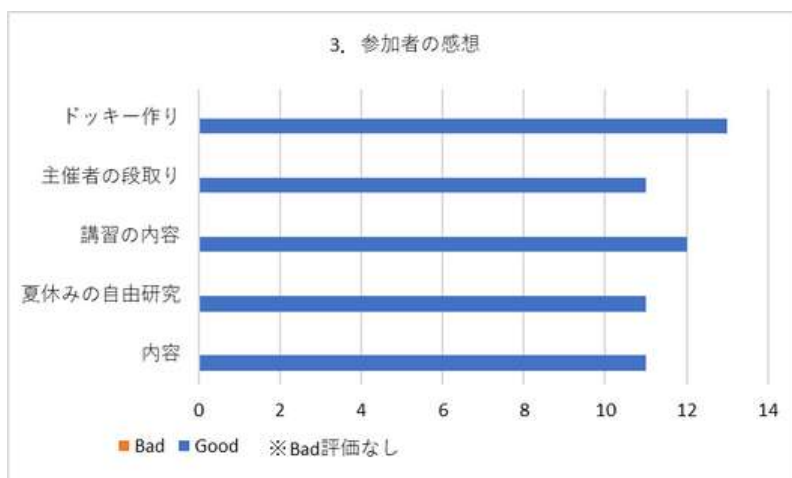
1. ワークショップを知ったきっかけ



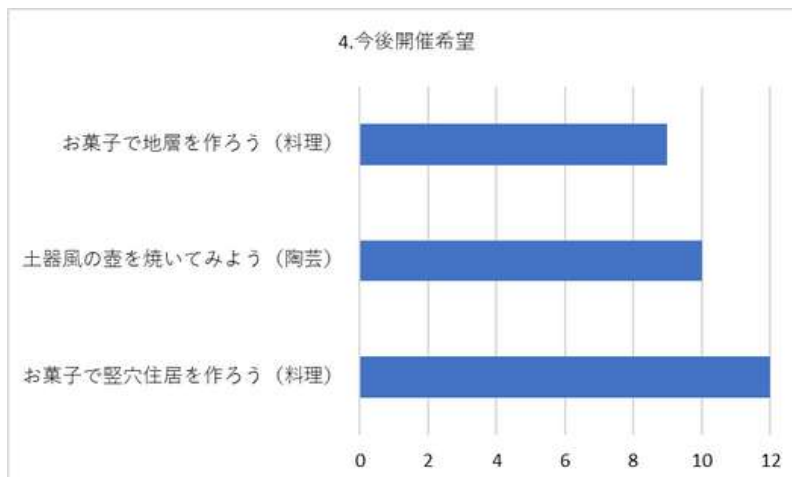
2. 参加者年齢分布



3. 参加者の感想



4. 今後開催希望



参加者のコメント (抜粋)

【改善要望】

- ・観察ステップの時間をもう少し増やしてほしい
- ・夏休み自由研究の宿題提出に合うよう、来年度は8月上旬開催を希望

【満足の声】

- ・初めて本物の土器を見て感動した
- ・クッキーづくりが楽しく、家でも再現したい
- ・スタッフが優しく説明してくれて安心できた
- ・観察するだけでなく、作ってみる、という発想がとても面白い。
- ・初めて本物の土器を見たので嬉しかった。
- ・観察してその形をそのまま作る、というすごい体験ができて良かった。
- ・土器をこんなに観察したのは初めてで、色々な形や内容物、文様などがあるんだなと勉強になった。
- ・広島市周辺に遺跡があることを初めて知った。
- ・スタッフが優しかった。とても分かりやすかった。

2. 運営体制の改善に向けた取り組み

本ワークショップを通じて、次回以降に向けた改善ポイントも明確になりました。今後は以下の点を意識し、より円滑で安全な運営体制を目指します。

①材料の見直し

混和材の準備については、使用量を事前に精査し、必要最小限の調達で無駄を防ぐ工夫を行います。

②配布物の予備確保

資料や材料は、当日の変更にも対応できるように、参加人数+2セット程度の予備を継続的に用意します。

③衛生管理の強化

今後も清掃用具や調理器具の持参を徹底し、安心・安全な調理環境を確保します。

④設備利用の安定化

視聴覚機器等については、会場や地域団体と連携し、必要備品の安定的な確保体制を整えていきます。